



新正会 櫻田基介 議員

問 統合後の先生方の様子を伺います。

答 教育部長 蓮沼中学校では、学年1クラス編成でしたが、統合に伴い、学級数が増えたため、配置される教員も増えました。その結果、校務分掌の割当ての分散や、一つの部活動に複数の顧問の配置など、教員一人一人の負担が軽減されています。

このため、各教員は、生徒指導を含め、一つ一つの課題に、丁寧に対応しています。

問 成東中学校と成東東中学校の統合について、新校舎の位置に関する教育委員会との協議の場は設けられたのか伺います。

答 市長 令和4年第2回定例会後の総合教育会議を同年8月24日に開催し、両校の統合について、私の考えを教育委員会へ伝え、協議を行いました。

問 その会議上では、統合の具体的な学校位置等の案を伝えることができたのか伺います。

答 市長 具体的な位置はお示しできませんでしたが、今後の学校区ごとの生徒数の推移を確認したところ、成東東中学校区の生徒数が半減し、成東中学校区の生徒数を下回る見込みとのことで、統合後の中学校は、成東中学校区に設置したいという私の案を説明し、同意をいただきました。

問 両中学校における今後の生徒数の推移を伺います。

答 教育部長 山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画が策定された平成28年度以降の、生徒数の推移は左表のとおりです。

成東中学校区の生徒数の減少が顕著であると推測します。

【生徒数の推移】

	成東中学校	成東東中学校
平成28年度	221人	339人
令和4年度	209人	256人
令和8年度	218人	203人
令和16年度	166人	126人

問 両校の統合に関する市長の考えは、早い段階で具体的な案を示したいとのことですが、いつ、どのように教育委員会へ案を示す予定なのか伺います。

答 市長 現在は、候補地を比較検討している段階です。

早期に決断をして、再度、総合教育会議を開催し、具体的な案を示したいと考えています。

さんむ医療センター 建替整備事業について

問 さんむ医療センターの建築工事の進捗状況を伺います。

答 保健福祉部長 新病院の詳細設計が完了したことから、令和4年9月から地盤改良等の開発工事、12月からは本体建物の工事に着手する予定です。

問 新病院の完成および開院の時期と、現さんむ医療センターの解体工事の予定を伺います。

答 保健福祉部長 新病院の完成は、令和6年6月頃、開院は同年9月頃を予定しています。現さんむ医療センターの解体工事は、新病院の開院から2か月後に着手し、概ね1年後の完了を予定しています。

問 社会情勢により物価高騰が続いていますが、現時点での病院建設に係る建設事業費を伺います。

答 保健福祉部長 当初の契約金額は79億7500万円でしたが、病院各部門からヒアリングを実施した結果、追加変更後の工事費は、約81億1400万円に増額となりました。

さらには、今般のコロナ禍における生産供給制約やロシアのウクライナ侵攻の影響による世界的な原材料等の品不足、建設物価指数の高騰のため、令和4年11月現在の建設工事費は、約91億2000万円となっています。

小中学校の規模適正化・ 適正配置について

問 令和4年4月に、学校統合により開校した、山武望洋中学校における現在の生徒の様子を伺います。

答 教育部長 山武望洋中学校では、生徒数が増えたことで多くの人と交流できるようになったことから、人間関係が広がり、活性化しています。

生徒会活動や学校行事では、両校で培ってきた良さを取り入れながら、よりよいものを生徒たちの手でつくり上げており、活気にあふれていると、学校から聞いています。

問 統合による部活動の変化や現状について伺います。

答 教育部長 統合を機に、部活動に加入していなかった生徒が部活動に参加する様子も見られます。部員数が増え、20名を超える部もあり、部活動に活気が見られている状況です。